

手先の器用さと根気強さを生かし多くの女性が活躍しています



鈴木典之さん
代表取締役

小野寺さんは、図面から全体の流れを判断して、様々な製品を一人で作ることができる優秀なスタッフの一人です。これからは、経験を生かして後輩の指導にも頑張ってもらいたいと期待しています。

手先の器用さと、コツコツとものを作る根気強さが求められるからでしょうか。ワイヤーハーネス製造は、昔から多くの女性が活躍する職業です。また、多くの女性社員が、結婚・出産後も職場に残り働いています。

今後は女性社員のみなさんにも、管理職に挑戦して、より活躍の場を広げてほしいと考えています。そのため、現場の声を拾いながらより働きやすい職場環境づくりを進めていきたいと考えています。

東北部品株式会社

1984年設立。自動車部品製造大手の矢崎総業株式会社（東京都）の関係会社としてワイヤーハーネスの製造を開始。少量多品種の生産にも対応できる体制を整え、国内のあらゆる自動車メーカーのニーズに応えている

栗原市築館字下待井 36-2
TEL 0228-23-6868
FAX 0228-22-3191
従業員数 262人 / 女性 156人 (2017年5月現在)



地元で働きたい」と就職先を考えていた高校三年生の頃、工場で働いていた両親の勧めもあり、ものづくりの仕事に興味を持つようになりまし。工場見学で今の会社を訪問し、女性がたくさん働いていることに驚きました。そして、「ここでなら楽しく仕事ができるかも」と感じ、就職を希望しました。

両親は、仕事のことでも気軽に相談できる理解者です。納期が迫って忙しいときや、ミスをして落ち込んでいるときには、家で話を聞いてもらっています。

休日は、外出してリフレッシュ。特に楽しみにしているのが、ライブに行くことです。憧れのアーティスト

ストが躍動する会場で、ファンと熱い時間を過ごせば、仕事の疲れや悩みも忘れてしまいます。

休みの日は外出して気分転換。ライブで思い切り発散しています!



「ライブを楽しむ友達とは、会場で知り合いました。普段も SNS を使って、アーティストの話題で盛り上がっています」

車を動かす大切な部品を一人で作る。完成したときの達成感がたまりません!



みやぎものづくり女子「ワイヤーハーネスを作っています」

東北部品株式会社 (栗原市)
おの でら ゆ か
小野寺 裕香さん
入社7年目



エアコンやカーナビ、ライトのほかに、エンジンを動かすときも電気が必要。そのため、ワイヤーハーネスは、自動車の隅々に張り巡らされている



電線のまとまりの目印になるテープも、様々な色が使われる。ワイヤーハーネスづくりでは、用途ごとに指定された「色」を覚えるのも仕事だ

車の神経」と言われているワイヤーハーネスは、自動車の内部にある様々な機器に電気や信号を送る部品です。

図面を見ながら専用の作業台に、電線を一本ずつ正確に配置し、テープを巻いて束ねていきます。使う電線は100種類以上あり、間違えないようにそれぞれ色分けされているので、ワイヤーハーネスづくりは、作業台にカラフルな電線を飾り付けていくような感覚です。

多くの製品は、各工程を分担して作っていますが、私が担当する製品は生産数が少ない特殊なものなので、すべての工程を一人で行っています。その中の一つ、大型トラックに使用されるワイヤーハーネスは、700本の電線で作られていて、完成すると4メートル以上の長さになります。作業台の幅も長く、電線を配置するために台の前を往復するだけでも大変です。順番をよく考えて、どれだけ同じ場所でも効率よく作業できるかどうか、私の腕の見せ所です。

ワイヤーハーネスは、自動車を動かすために欠かせない大切な部品の一つ。責任重大な仕事ですが、その分やりがいを感じることが出来ます。自分の手で形あるものを作ることができる。それが、ものづくりの魅力だと思います!

目にも留まらぬ早業で、電線を配置する先輩たちは、ほとんどが女性ということもあって、仕事以外の悩みも相談しやすい頼れる存在。私も更に知識と技術を磨いて、後輩にたくさんのことを教えてあげられるようになりたいです。